

みずほCustomer Desk Report 2021/03/05 号(As of 2021/03/04)

市場營業部 為替營業第二子一ム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	107.06	1.2049	128.99	1.3925	0.7754
SYD-NY High	107.98	1.2065	129.63	1.4017	0.7815
SYD-NY Low	106.97	1.1962	128.92	1.3881	0.7709
NY 5:00 PM	107.97	1.1973	129.28	1.3897	0.7721
NY DOW	30,924.14	▲ 345.95	日本2年債	-0.1200	0.00bp
NASDAQ	12,723.47	▲ 274.28	日本10年債	0.1300	1.00bp
S&P	3,768.47	▲ 51.25	米国2年債	0.1457	0.40bp
日経平均	28,930.11	▲ 628.99	米国5年債	0.7809	5.01bp
TOPIX	1,884.74	▲ 19.80	米国10年債	1.5562	7.29bp
シカゴ日経先物	28,910.00	▲ 365.00	独10年債	-0.3125	▲ 1.50bp
ロンドンFT	6,650.88	▲ 24.59	英10年債	0.7295	▲ 4.75bp
DAX	14,056.34	▲ 23.69	豪10年債	1.8010	10.20bp
ハンセン指数	29,236.79	▲ 643.63	USDJPY 1M Vol	6.31	0.31%
上海総合	3,503.49	▲ 73.41	USDJPY 3M Vol	6.46	0.26%
NY金	1,700.70	▲ 15.10	USDJPY 6M Vol	6.69	0.14%
WTI	63.83	2.55	USDJPY 1M 25RR	-0.12	Yen Call Over
CRB指数	190.746	0.78	EURJPY 3M Vol	6.95	0.25%
ドルインデックス	91.63	0.68	EURJPY 6M Vol	7.19	0.13%

東京	東京時間のドル円は107.06レベルでオープン。日経平均株価が大幅下落して始まったことを受けてドル円は上値重く推移。一時106円割れする場面もあったが、米10年債利回りが高止まりしているため下値も堅く、107円ちょうど近辺の狭いレンジでの推移が続き107.12レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、107.12レベルでオープン。特段の新規材料はない中、欧州時間もドルが強く徐々に値を切り上げる展開。一時107.40円まで上昇し107.39レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場では、岡村財務官の「デフレリスクを考えれば現在の短期、長期金利の緩和姿勢を長期にわたって維持するのは当然だろう」との発言等から円が売られ、ユーロ、ドルも売られる中、ドル円は円売りの勢いにサポートされ107.40まで上昇し、107.39レベルでNYオープン。朝方は、米新規失業保険申請件数が予想範囲内の結果であったことからドル円の反応は限定的となるが、円売りが継続する中107.50のレジスタンスを抜け、107.65まで上昇する。正午過ぎに始まったパウエル議長の米経済に関するインタビューでは、「雇用がまだまだ完全とは程遠い」と慎重な姿勢を見せる一方、「景気回復や経済再開によりインフレーションや金利が上昇するのは自然なこと」等、楽観的と取れるような発言もあり、「先週の金利上昇は注目はした」との発言はあったものの、「状況が著しく変わってツールが必要になれば使う」とし、ここ最近市場で思惑が強まっていたツイストオペレーションに関する言及はなかったことから、米金利上昇は容認との見方から債券市場では売りが強まり、中長期金利が急伸する展開に、ドル円は上値を追う展開となり107.98まで上昇し、高値圏である107.97レベルでクロスした。一方、ドルは他通貨で売られるものの、ユーロ売りが優勢となり、ユーロドルは上値を重くし、1.2026まで下落し、1.2033レベルでNYオープン。朝方はパウエル議長のインタビューを控えた調整からか1.2054まで戻す局面もあったが、午後は前述のパウエル議長の発言を受けたドル買いに2日に付けた安値1.1992を抜け、1.1962まで下落する。1.1950付近では買い意欲も見られることから、1.1975まで戻し、1.1973レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 原田・天雲 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

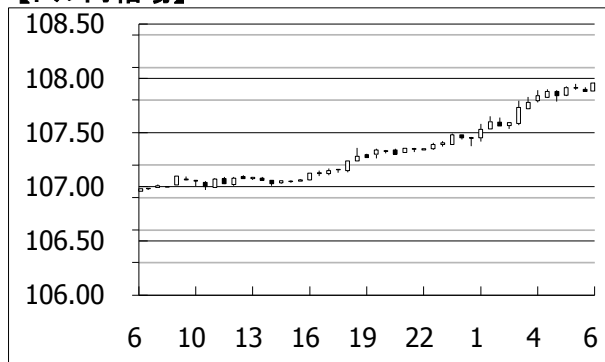
【昨日の指標等】

Date	Time	Event			結果	予想
3月4日	19:00	欧	失業率	1月	8.1%	8.3%
	19:00	欧	小売売上高(前月比)	1月	-5.9%	-1.4%
	22:30	米	新規失業保険申請件数	-	745k	750k
3月5日	00:00	米	製造業受注(前月比)	1月	2.6%	2.1%
	00:00	米	製造業受注(除輸送)	1月	1.7%	-
	00:00	米	耐久財受注(前月比)/同(除輸送用機器・前月比)・速報	1月	3.4%/1.3%	3.4%/1.4%

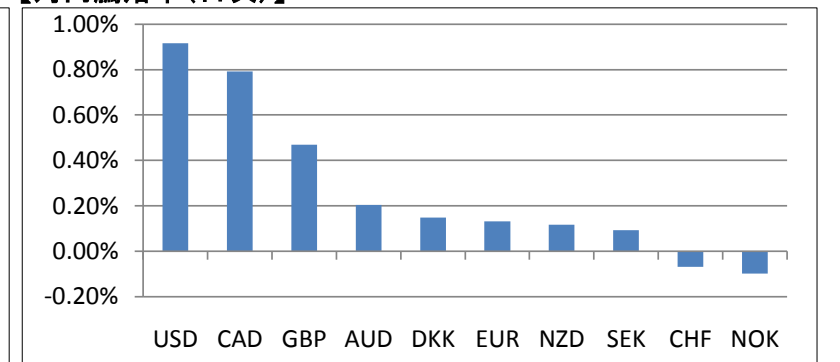
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
3月5日	16:00	独 製造業受注(前月比)	1月 0.5%	-1.9%
	22:30	米 非農業部門雇用者数変化	2月 198k	49k
	22:30	米 失業率	2月 6.3%	6.3%
	22:30	米 平均時給(前月比/前年比)	2月 0.2%/5.3%	0.2%/5.4%
	22:30	米 貿易収支	1月 -\$67.5b	-\$66.6b

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	107.60-108.60	1.1900-1.2050	128.80-129.80

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は上昇。日中から107円ちょうどを挟み底堅い推移となった。本邦株式市場が軟調に推移する中、ドル円は実需の売りが相応に出ていたものの、相場を押し下げるには至らず。海外の買いや国内機関投資家の買いフローもあって、107円台を維持した。海外時間では、パウエル議長の発言に動意づく展開。株価下落でパウエル・プットの期待もある中、ツイストオペやYCCなどの具体的な内容には触れることはなかった。これを受けて米金利はさらにベアスティーピング。ドル円もスピードを伴って107円後半まで上昇した。本日のドル円は108円台半ばに向けて上昇を予想。米10年債金利が1.5%台を超えてなお、金利上昇を容認しており、さらなる金利上昇が視野に入っていることや、バイデン大統領が推し進める1.9兆ドルの経済対策案の審議が上院本会議で審議されることが決定。米金利の弱気材料がそろっている。係る状況下、ドル円は引き続き金利ドリブンでの上昇がしばらく続くと予想する。

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	牛島	山岸	田坂	尾身	上野	山口	甲斐		
ベア	ベア	ブル	ブル	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア	ベア	ベア		
小野崎	玉井	原田	上遠野	小林	鈴木	大谷	大庭	逸見	木村		ブル	ベア
ブル	ベア	ベア	ベア	ベア	ベア	ブル	ブル	ベア	ブル		8	13